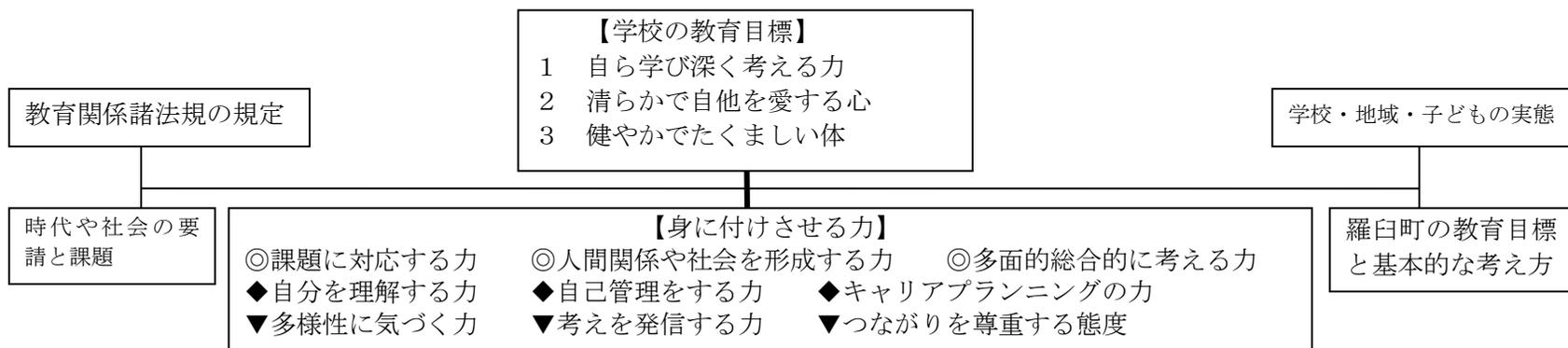


知床未来中学校 総合的な学習の時間の全体計画



【総合的な学習の時間の重点】

- 持続可能な社会の実現に向けて、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。
- 学び方やものの考え方を身に付け、問題解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる
- 自己の生き方を考えることができる

各教科	各学年の重点	道徳教育	特別活動
○一人一人のキャリア形成やよりよい社会づくりにどのように生かされるかを見据え、各教科等学ぶ意義を明確にし、育む資質・能力を明確にする。 ○よりよい社会や人生の在り方について考え、学んだことを社会や人生の在り方に生かす。	【1学年】 ○総合的な学習の時間における学び方を習得する ○羅臼町の調査を通して、世界遺産知床の良さに気づく 【2学年】 ○分析する能力（比較、整理など）の向上を図る ○他地域の風土に直接ふれ、世界遺産知床を抱える自らの郷土を大切にすることを育てる。 ○職業体験を通して、自らの将来について考え、自己の生き方を考える 【3学年】 ○発信する能力（PR活動など）の向上を図る ○自らの将来（進学、進路）について向き合う ○自らを取り巻く環境（仲間、人材、自然など）について振り返る	○人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中を生かす。 ○豊かな心を持ち、郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図る。 ○他国を尊重し国際社会の平和と発展、保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人を育成する。	○将来の自分、また、望ましい集団や社会の成員としての資質を身に付ける自主的、実践的な態度を育てる。 ○人間としての生き方についての自覚を深めるとともに、現在及び将来にわたって自己実現を図る能力を養う。

学年	第1学年(50時間)	第2学年(70時間)	第3学年(70時間)		
テーマ	キャリア学習や知床学(海洋教育)などを通して、中学生で必要とされる総合的な学習の時間の学習スキルを修得することができる	キャリア学習や知床学(海洋教育)と関連して地域を大切にする気持ちを育てる。	キャリア教育や知床学(海洋教育)を通して、地域に誇りを持ち、希望する進路の実現のために学ぶ		
学習内容	・高校って何するところ ・職業調べ ・表現 ・健康	・職業体験学習(職業人講話、職場体験、発表会等) ・高校卒業後の進路 ・表現 ・健康	・上級学校訪問 ・高校体験入学 ・表現 ・健康		
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	技知識及び能力	・羅臼の自然環境や社会環境が分かる。 ・羅臼の食と自分との関わりが分かる。 ・高校について知り、自分との関わりが分かる。 ・情報を比較、分類、関連付けて考えるなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	・知床の自然環境や社会環境の特色が分かる。 ・知床の環境の現状と自分との関わりが分かる。 ・将来の自分と今の自分を比較することができる。 ・情報を多面的に見る、考えを具体化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	・知床の自然環境や社会環境をまとめ発信する。 ・知床の環境と自分との関わりが分かる。 ・上級学校を知り、自分との関わりが分かる。 ・情報を構造化する、抽象化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	
	思考力、判断力、表現力等	課題の設定	・自分たちを取り巻く自然や社会に広く目を向け、活動の意図や目的を明確にしたりして課題を見出している。 ・解決の方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てている。		
		情報の収集	・目的に応じて手段を選択し、情報を収集し適切な方法で蓄積している。 ・他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取捨選択している。		
		整理・分析	・問題状況における事実や関係を把握し、分類して多様な情報にある特徴を見付けている。 ・事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析している。		
		まとめ・表現	・調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。 ・他の教科等で身に付けた技能を活用して表現している。		
学びに向かう力、人間性等	振り返り	・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。 ・振り返りの観点を自己で設定して活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。			
	主体性	・自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。			
	協働性	・自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。			
	自己理解	・探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。			
	他者理解	・探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとしている。			
社会参画	・探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加しようとしている。				

- 【外部機関との連携】** 羅臼町教育委員会、羅臼町観光協会、斜里町観光協会、知床財団、中標津警察署、町内各学校・園、羅臼町子育て支援センター ほか
- 【地域との連携】** 羅臼町コミュニティスクール学校運営協議会やPTA等による地域人材・講師等の招聘 ほか

第1学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

内容 時間	総合Ⅱ（進路学習）	総合Ⅲ（表現学習）	総合Ⅳ（健康学習）	合計
	職業調べ	まとめ・発信方法	性・薬物・モラル	
細案	中1学年団	中1学年団	養護教諭	
一学期	※知床学 7時間 ・クマ学習（3） ・クルージング体験（4）	○体育祭発表計画 2時間 ・リーダーが中心となり、チームの目標から表現方法を決定する。（1） ・表現方法のまとめ（1）	○健康学習 1時間 ・交通安全教室（1）	9 時間
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>性・薬物・モラルに関する実施案</p> <p>① 交通安全教室 指導部 4月職会</p> <p>② 情報モラル教室 指導部 6月職会</p> <p>③ 薬物乱用防止教室 指導部 11月職会</p> <p>④ 性と性の学習・食育 養護教諭 9月 or 10月職会</p> </div>				
二学期	○将来の自分づくり 2時間 ・高校って何するところ？（2） 羅臼高校の先生から説明を聞く 中学校生活をどう過ごすか ※知床学 19時間 ・セリ学習（3） ・調理体験（3） ・ヒカリゴケ学習（2） ・野外体験、発表準備、発表会（6） ・中高合同講演会（2） ・ユネスコスクール発表会（3）	○学校祭発表計画 4時間 ・リーダーを中心とした表現方法の決定（1） ・学校祭等の発信（2） ・表現方法のまとめ（1）	○健康学習 7時間 ・情報モラル教室（1） ・薬物乱用防止教室（1） ・生と性の学習（3） ・食育（2）	31 時間
三学期	○職業調べ 8時間 ・資料収集・レポート作成（4） ・発表準備（3） ・発表（1）			10 時間
合計 時数	8時間 (知床学28時間)	6時間	8時間	50 時間

評価規準	
技知 能識	<ul style="list-style-type: none"> ・羅臼の自然環境や社会環境を知る。 ・羅臼の食と自分との関わりが分かる。 ・高校について知り、自分との関わりが分かる。 ・情報を比較、分類、関連付けて考えるなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。
思考力 表現力等 判断力	課題の設定 ・自分たちを取り巻く自然や社会に広く目を向け、活動の意図や目的を明確にしたりして課題を見出している。 ・解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てている。
	情報の収集 ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集し適切な方法で蓄積している。 ・他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取捨選択している。
	整理・分析 ・問題状況における事実や関係を把握し、分類して多様な情報にある特徴を見付けている。 ・事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析している。
	まとめ・表現 ・調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。 ・他の教科等で身に付けた技能を活用して表現している。
	振り返り ・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。 ・振り返りの観点を自己で設定して活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。
学びに向かう力 人間性等	主体性 ・自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。
	協働性 ・自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。
	自己理解 ・探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。
	他者理解 ・探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとしている。
	社会参画 ・探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加しようとしている。

第2学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

内容 時間	総合Ⅱ（進路学習）	総合Ⅲ（表現学習）	総合Ⅳ（健康学習）	合計
	職業体験学習	まとめ・発信方法	性・薬物・モラル	
細案	中2学年団	中2学年団	養護教諭	
一 学 期	※知床学 20時間 ・生態系学習（3） ・斜里側との比較（8） ・宿泊研修（6） ・発表準備、発表会（3）	○体育祭発表計画 2時間 ・リーダーが中心となり、チームの目標から表現方法を決定する。（1） ・表現方法のまとめ（1）	○健康学習 1時間 ・交通安全教室（1）	23 時間
<p>～ 宿泊研修学習の進め方 ～</p> <p>① 宿泊場所は、厚岸町【ネイバル厚岸】。など</p> <p>② 学年団で原案作成、予約必要。</p> <p>③ 研修内容は、中2学年団が研修計画・連絡調整・バスの手配。</p> <p>④ 中2学年団で昨年の実施案をもとに今年度の実施案を作成し職員会議で検討</p> <p>※ 年度始めに、町バスは仮押さえをしておく。 ※ 教務部が、宿泊期間脂って伊藤を調整する。 ※ 体験内容は、中2学年団で連携して、検討する。 ※ バスの手配は、中2学年団で行う。</p>				
二 学 期	○職業体験学習 22時間 ・オリエンテーション（1） ・職業人講話（4） ・職種、職場の選択（2） ・依頼状の作成（2） ・事前訪問（1） ・職業体験（6） ・礼状・感想文作成（2） ・学習のまとめ（4） ※知床学 8時間 ・中高合同講演会（2） ・ユネスコスクール発表会（6）	○学校祭発表計画 4時間 ・リーダーを中心とした表現方法の決定（1） ・学校祭等の発信（2） ・表現方法のまとめ（1）	○健康学習 8時間 ・情報モラル教室（1） ・薬物乱用防止教室（1） ・生と性の学習（4） ・食育（2）	42 時間
三 学 期	○高校卒業後の進路 4時間 ・羅臼高校の先生の話聞く（1） ・高校生の発表を聞く（3） ※知床学 1時間 ・昆布学習（1）			5 時間
合計 時数	26時間 (知床学29時間)	6時間	9時間	70 時間

評価規準											
技 知 能 識	<ul style="list-style-type: none"> ・知床の自然環境や社会環境の特色が分かる。 ・知床の環境の現状と自分との関わりが分かる。 ・将来の自分と今の自分を比較することができる。 ・情報を多面的に見る、考えを具体化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。 										
思考力、判断力、 表現力等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">課題の設定</td> <td> ・自分たちを取り巻く自然や社会に広く目を向け、活動の意図や目的を明確にしたりして課題を見出している。 ・解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てている。 </td> </tr> <tr> <td>情報の収集</td> <td> ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集し適切な方法で蓄積している。 ・他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取舍選択している。 </td> </tr> <tr> <td>整理・分析</td> <td> ・問題状況における事実や関係を把握し、分類して多様な情報にある特徴を見付けている。 ・事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析している。 </td> </tr> <tr> <td>まとめ・表現</td> <td> ・調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。 ・他の教科等で身に付けた技能を活用して表現している。 </td> </tr> <tr> <td>振り返り</td> <td> ・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。 ・振り返りの観点を自己で設定して活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。 </td> </tr> </table>	課題の設定	・自分たちを取り巻く自然や社会に広く目を向け、活動の意図や目的を明確にしたりして課題を見出している。 ・解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てている。	情報の収集	・目的に応じて手段を選択し、情報を収集し適切な方法で蓄積している。 ・他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取舍選択している。	整理・分析	・問題状況における事実や関係を把握し、分類して多様な情報にある特徴を見付けている。 ・事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析している。	まとめ・表現	・調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。 ・他の教科等で身に付けた技能を活用して表現している。	振り返り	・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。 ・振り返りの観点を自己で設定して活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。
課題の設定	・自分たちを取り巻く自然や社会に広く目を向け、活動の意図や目的を明確にしたりして課題を見出している。 ・解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てている。										
情報の収集	・目的に応じて手段を選択し、情報を収集し適切な方法で蓄積している。 ・他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取舍選択している。										
整理・分析	・問題状況における事実や関係を把握し、分類して多様な情報にある特徴を見付けている。 ・事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析している。										
まとめ・表現	・調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。 ・他の教科等で身に付けた技能を活用して表現している。										
振り返り	・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。 ・振り返りの観点を自己で設定して活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。										
学びに向かう力、 人間性等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">主体性</td> <td> ・自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。 </td> </tr> <tr> <td>協働性</td> <td> ・他者のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。 </td> </tr> <tr> <td>自己理解</td> <td> ・探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。 </td> </tr> <tr> <td>他者理解</td> <td> ・探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとしている。 </td> </tr> <tr> <td>社会参画</td> <td> ・探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加しようとしている。 </td> </tr> </table>	主体性	・自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。	協働性	・他者のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。	自己理解	・探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。	他者理解	・探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとしている。	社会参画	・探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加しようとしている。
主体性	・自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。										
協働性	・他者のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。										
自己理解	・探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。										
他者理解	・探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとしている。										
社会参画	・探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加しようとしている。										

第3学年 総合的な学習の時間 年間指導計画

内容 時間	総合Ⅱ（進路学習）	総合Ⅲ（表現学習）	総合Ⅳ（健康学習）	合計
	上級学校訪問	まとめ・発信方法	性・薬物・モラル	
細案	中3学年団	中3学年団	養護教諭	
一学期	※知床学 3時間 ・クマ学習（3） ○上級学校訪問事前学習 4時間 ・オリエンテーション（1） ・班編成（1） ・訪問校の選定（1） ・依頼文・依頼電話（1） ※知床学 11時間 ・修学旅行パンフレット作成（11）	○体育祭発表計画 2時間 ・リーダーが中心となり、チームの目標から表現方法を決定する。（1） ・表現方法のまとめ（1） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ～ 羅臼PR活動計画の進め方 ～ * 中1・2で調べまとめたデータ等を活用して、修学旅行で羅臼PR活動用のパンフレットを作成する。 * パンフレットの作成は一学期終業式までに完成させる。 * 作成計画は、中3学年団で4月～5月の段階で作成し、職員会議で提案検討する。 * 予算作成 修学旅行のパンフレット作成について * 羅臼PR活動で配布するパンフレットの内容は、これまで学習してきた知床学の集大成となるような意識を持たせ、作成する。写真の扱いについては著作権及び肖像権に留意する。 </div>	○健康学習 1時間 ・交通安全教室（1）	21 時間
二学期	※知床学 3時間 ・修学旅行での発信活動（3） ○上級学校訪問 8時間 ・マナー、礼法指導（1） ・学習質問内容の検討（1） ・上級学校訪問（6） ○修学旅行のまとめ 9時間 ・発表準備、発表会（9） ※知床学 9時間 ・発表準備、発表（9） （プレゼン作成等） ○羅臼高校体験入学 3時間 ※知床学 5時間 ・中高合同講演会（2） ・ユネスコスクール発表会（3）	○学校祭発表計画 4時間 ・リーダーを中心とした表現方法の決定（1） ・学校祭等の発信（2） ・表現方法のまとめ（1）	○健康学習 4時間 ・情報モラル教室（1） ・薬物乱用防止教室（1） ・食育（2） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 卒業式前の性の学習1時間は保健師さんに講師を依頼（養教） </div>	45 時間
三学期			○健康学習 4時間 ・生と性の学習（4）	4 時間
合計 時数	24時間 (知床学31時間)	6時間	9時間	70 時間

評価規準	
技知	<ul style="list-style-type: none"> ・知床の自然環境や社会環境をまとめ発信する。 ・知床の環境と自分との関わりが分かる。 ・上級学校を知り、自分との関わりが分かる。 ・情報を構造化する、抽象化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。
能識	
思考力、判断力、表現力等	課題の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちを取り巻く自然や社会に広く目を向け、活動の意図や目的を明確にしたりして課題を見出している。 ・解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てている。
	情報の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集し適切な方法で蓄積している。 ・他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取捨選択している。
	整理・分析 <ul style="list-style-type: none"> ・問題状況における事実や関係を把握し、分類して多様な情報にある特徴を見付けている。 ・事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析している。
	まとめ・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。 ・他の教科等で身に付けた技能を活用して表現している。
	振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。 ・振り返りの観点を自己で設定して活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。
学びに向かう力、人間性等	主体性 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。
	協働性 <ul style="list-style-type: none"> ・自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。
	自己理解 <ul style="list-style-type: none"> ・探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分の特徴やよさを理解しようとしている。
	他者理解 <ul style="list-style-type: none"> ・探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとしている。
	社会参画 <ul style="list-style-type: none"> ・探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加しようとしている。

1 単元名 「クマ学習」 (2時間)

2 単元のねらい (目標)

自然やふるさとに興味・関心を持つ

3 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	クマの生態を理解する	クマに遭遇したときの対処法にケース毎に考える	①クマに遭遇しないように安全管理・基本的自己管理意識を持つ

4 指導と評価の計画

小単元名 (時数)	○学習活動 ・ 児童生徒の反応	知	思	態	※指導上の留意点 ☆外部連携
クマ学習 (2時間)	①クマの生態について学ぶ ②クマに遭遇した時の対処法についてケースごとにシュミレーションする ③クマの生態からできるだけ遭遇しないように生活する	①	②	③	☆知床財団

5 本時の目標

クマに遭遇した時の対処の仕方について学ぶ (2時間)

6 評価規準

②クマに遭遇した時の対処法についてケースごとにシュミレーションする
(②思考)

7 本時の展開

配時	○学習活動 ・児童生徒の反応	※指導上の留意点 ☆外部連携
25分	羅臼の熊の生態についてスライドとプリントを活用して再確認する。	☆知床財団
25分	クマの毛皮や歯、糞などの資料を見てクマについての知識を増やす。	
25分	ケーススタディとしてクマに遭遇しやすいところなどについて知床財団の方に説明をしていただく	
25分	班毎にシュミレーションをして、対処法を確認する。	

8 他教科等との関連

- 理科「地震と大地の変化」
- 社会「人々の生活と環境」

1 単元名 「クマ学習」 (2時間)

2 単元のねらい(目標)

気候や風土を理解する

遺跡、産業史についてまとめたり、発信したりする

3 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	クマの生態を理解する	クマに遭遇したときの対処法にケース毎に考える	①クマに遭遇しないように安全管理・基本的自己管理意識を持つ

4 指導と評価の計画

小単元名 (時数)	○学習活動・児童生徒の反応	知	思	態	※指導上の留意点 ☆外部連携
クマ学習 (2時間)	①クマの生態について学ぶ 知床財団で行っているクマの調査から熊の行動範囲などについての説明を頂く ②クマと共存するためにはどうしたらいいのか考える ③羅臼町では昔から熊と共存してきた歴史があることを学ぶ	①	②	③	☆知床財団

5 本時の目標

クマとの共存について学ぶ(2時間)

6 評価規準

②クマと共存するために行っていくことについて試行を深める
(②思考)

7 本時の展開

配時	○学習活動 ・児童生徒の反応	※指導上の留意点 ☆外部連携
25分	羅臼の熊の生態についてスライドとプリントを活用して再確認する。知床財団で行っているクマの調査の仕方と結果について教えていただく。	☆知床財団
25分	クマと共存するために行うことについて考える。クマの被害などについて知床財団で持つ資料を見せていただき交流を深める。	
25分	クマとの共存のために行っている電気柵について学ぶ。実際に校舎の周辺の電気柵を例に出して解説いただく	
25分	羅臼町の郷土資料館にある土器などを例に出してクマとの共存の歴史について指導していただく。	

8 他教科等との関連

- 理科「自然の恵みと災害」